

# 建設DX実験フィールド開所式

～インフラDXの更なる推進へ～

国土交通省では、社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革すると共に、業務そのものや、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革し、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現すべく、省横断的にインフラ分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取り組みを推進しています。

国総研は、この取組みの中で、直轄 BIM/CIM データの一元管理・分析を行うためのデータセンターの整備、5G等を活用した無人化施工・自動施工等や3Dデータを用いた構造物の施工管理・効率的な検査のための技術開発を行う建設DX実験フィールドの整備等を行うこととしております。

この度、建設DX実験フィールドが概成したことから、山田技監ご列席のもと、4月14日（水）に、国総研にて開所式を開催いたしました。

開所式では、建設DX実験フィールドの概成と今後のインフラDXの取組みの更なる推進を祈念して、テープカットを行ったほか、土研・建研とのインフラDXに関する協力協定の締結式、建設DX実験フィールドにおけるデモンストレーション見学会を併せ

て開催いたしました。

式典の中では、山田技監からの訓示が述べられました。

「(略) 昨今の新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、非接触・非対面をキーワードに、WEB会議の活用等で、世間にもDXが浸透してきている。インフラ分野についても、新技術を可能な限り吸収・蓄積して、多くの方々にDXのメリットを理解頂くよう、努力することが重要。本省・地方整備局・研究機関が連携して、安全で安心な豊かな社会の実現を目指して、取り組んで頂きたい。」

今後も、インフラDXの取組みを研究機関として支えられるよう、引き続き取り組んでまいります。



国総研・土研・建研間で締結したDX  
協定締結式



技監訓示



建設DX実験フィールド全景空撮



建設 DX 実験フィールド開所を記念したテープカット



配筋検査模型概要説明



レーザースキャン機器説明



遠隔操作対応建設機械概要説明（土研）



遠隔操作建設機械操作体験（土研）